



可美っ子

浜松市立可美小学校

学校だより No. 11

令和5年1月19日

Kami-e@hamamatsu-szo.ed.jp

令和4年度教育活動に関するアンケートから

可美小学校の学校教育目標「美しい心でともに未来に向かって輝く子」のもと、学び合う子、認め合う子、高め合う子を育てるために、重点施策を設定して、様々な教育活動を行ってきました。それらの内容について目標が達成できているか確認し、今後に活かしていくために保護者の皆様・児童・教員の3者からアンケートを取りました。以下に、アンケート結果の概要を報告させていただきます。



【学び合う子】に関する内容

- 今年度も、85%以上の子供・教員が、授業に関する全ての質問において「できている」と回答していました。また、子供は昨年度と比べて「授業が楽しい」「授業の内容を理解できている」「自分の考えを持って進んで学習に取り組んでいる」と回答した割合が増えました。今後も、主体的な学びの充実をさらに目指していきます。
- 浜松市が重点としているキャリア教育の推進に向けた取り組みが進み、教員のキャリア教育への意識が高まりました。今後も、学習したことや経験したことが将来いろいろな場面に生きていくような教育活動を行っていきます。また、子供たちや保護者にもキャリア教育の意義が伝わるように努めていきます。
- ICT教育については、保護者・児童・教員の3者共、90%程度が「情報活用能力が高まっている」と回答しました。今度もICT機器の積極的な活用を図るとともに、情報モラル教育の充実にも努めていきます。
- 家庭学習の取り組みについては、保護者が「できている」と回答した割合は子供・教員の評価より低かったです。主体的な学びにつなげるためにも家庭学習は必要であり、子供たちにどう家庭学習を習慣化させるのか、手立てを工夫していくとともに、家庭と連携して学習習慣が身に付くように支援していきます。



【認め合う子】に関する内容

- 「安心して楽しく学校で過ごせている」の質問では、子供たちの90%以上が「そう思う」と回答し、昨年度よりよい結果となりました。今後も全員が安心して楽しく学校生活を送れるような場を作っていきます。
- 「違う考えの友達とも尊重し合い、仲良く生活している」の質問では、子供・保護者・教員の3者とも「そう思う」と答えた割合が昨年度より増えました。子供たちが関わり方を学びながら成長するために学校生活の中でいろいろな人と関わる機会を多く設定していきます。



- 挨拶や言葉遣いに関しては、「できていない」と回答した子供の割合が、昨年度より減りました。「あいさつ協力校」としての取り組みの成果であると思われます。今後も挨拶運動に積極的に取り組んでいきます。

【高め合う子】に関する内容

- 「体を動かすことが好き」「外遊びや体力作りをしている」と80%程度の児童が回答しましたが、保護者と教員は「そうではない」と回答した割合が昨年度より増えました。工事中で運動環境が十分でないことや、運動への取り組みの2極化が進んでいることが考えられます。運動することのよさや楽しさを感じられるよう、運動機会の奨励や声掛けをしていきます。
- 「好き嫌いなく食事をしている」と回答した子供の割合が昨年度より増えて、80%を超えました。保護者と教員は逆に減りました。今後も食育指導を通して、子供たちにバランスの良い食事をするための大切さを指導していきます。



記述欄に記入していただいた内容について

学校生活における新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策については、教育委員会の指針に沿って行っています。室内での授業や活動は、基本的にマスクを着用していますが、体育の授業や外での活動、登下校時など屋外の活動は、マスクを外すように声を掛けています。



給食の時間は、12月から「黙食」を「静かに」に変更し、話すときは小さな声で話すようにし、引き続き全員前向きで食べています。今後も状況に応じて対応していきます。

さくら連絡網について

さくら連絡網で様々な連絡やたよりを送信しています。たくさんの連絡をしていますので、必要な連絡を探すときは、検索機能（虫眼鏡のマーク）が便利です。また、紙でほしい場合は、担任に申し出てください。年間行事や学校だよりなどは、ホームページにも掲載していますのでそちらもご覧ください。

終わりに・・・

「学校評価」ならびに「体罰アンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケート結果から、目標を達成できたことや昨年度よりよくなっていることはさらに伸ばし、達成できなかったことについては課題として分析したり、いただいた意見を参考にしたりして、来年度の教育活動を考えていきます。学校と家庭、そして地域の方々の協力や連携があつてこそ、子供たちは成長していくことができます。今後も、学校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、「学校評価」の詳しい結果につきましては、ホームページに掲載いたしました。是非ご覧ください。

